

2022年 バイエル薬品アカデミックサポート Web申請にあたっての注意事項

1. アカウント登録

申請には、申請アカウントの取得が必要となります。申請者（研究代表者）ご本人または代理の方等、実際に申請サイトへ入力される方がアカウントを取得してください。

- [「バイエル薬品アカデミックサポート」](#) サイトをご確認の上、ログインページへ進み「申請アカウント新規登録」より登録してください
- 2021年度に申請アカウントを取得された方は継続してご利用いただけますが、アカウント作成後、90日以内に申請を行わなかった場合は、自動で削除されます。その際は再度作成してください
- ご登録いただいたメールアドレスは、システムからの通知メールや申請に関する弊社からのご連絡に使用いたしますので、「@kifu-shinsei.jp」「@bayer.com」のドメインメールが受信可能となるようご準備ください
- ご登録いただいたメールアドレス宛にアカウント登録完了通知メールが送付されますので、メールおよび画面上の案内に添って申請を行ってください
- 詳細は [「アカウント新規登録から申請までの流れ」](#) をご確認ください

2. 申請内容入力

申請入力者情報

「申請入力者」 … 申請者（研究代表者）の指示の下であればどなたでも申請手続きが行えます。申請入力者を変更される際は必ずご連絡ください。ご連絡のない場合、システムからの通知メール等が届かず、アカウントも無効となるため、データの修正や各種の連絡が行えません。

申請者（研究代表者）情報

「申請者」 … 申請者（研究代表者）の情報を入力してください。

★「申請入力者」と「申請者（研究代表者）」が異なる場合「申請者（研究代表者）情報」の入力にご注意ください。[「申請者（研究代表者）」以外からの申請は、受け付けることができません](#)

- 「所属研究機関名」「所属教室、診療科等」の欄には、施設名、教室名、診療科名、部局名、等ご所属について、最新の情報であり省略することなく、正式名称でご入力ください
- 透明性ガイドラインに基づき「B 学術研究助成費」の「奨学寄附金」として、[ここで入力いただいた情報をバイエル薬品のホームページに公開いたします](#)
- [審査後の助成先変更はお受けできませんので、必ず、ご所属の研究機関の寄附規定等をご確認の上、申請ください](#)

例) ・国立大学法人 ○○大学大学院 ○○科 ○○教室
・公益財団法人 ○○振興財団 ○○部門

研究活動情報

申請にあたっての確認事項 1～3

募集要項「2.申請者資格および条件」を確認の上、はい、いいえ、をリストから選択、あるいは、内容を入力してください。

- 申請者（研究代表者）は 1982 年 4 月 1 日以降生まれである（リスト選択）
- 申請者（研究代表者）が所属する教室や診療科から 1 件の申請である（リスト選択）
- 本申請について承諾を得た最上位役職者の役職と氏名をご記入ください（入力記入例）教授：バイエル太郎

研究内容（継続、新規）

いずれかを選択してください。

- 継続 … 申請者もしくは申請者の所属する教室や診療科が過去に助成を受けている研究を継続して（引き継いで）今年度の研究代表者となって申請されるなど、継続の研究テーマの場合に選択してください。なお、過去に助成を受けている研究については、進捗状況についての報告が必須となります
- 新規 … 今年度から初めて申請する研究テーマの場合に選択してください

研究テーマ

あいまいで広範囲を指すような表記は可能な限り避け、具体的な表現でご記入ください。
記入例）新規ターゲット蛋白×××の肺動脈性肺高血圧症における役割の解明

研究領域

研究テーマの対象疾患をリストより選択してください。

研究区分

研究の区分を選択してください。

- BT … Basic & Technology
- MC … Medical & Clinical
- BT&MC … どちらにも該当する場合

研究背景/目的

研究の着想に至った背景および既報告データ等をご記入ください。現在どのような臨床上の問題があり、なぜそれを解明する必要があるのか、また従来の研究と比較して、どのような新規性や独創性があるのか等をご記入ください。

研究の詳細

上記目的を達成するために、どのような研究デザイン（臨床研究であれば、前向き／後向き、介入／非介入、ブラインド／非ブラインド等）で実施するのか、目標症例数、主要評価項目、観察期間等を含め具体的にご記入ください。

- 後述の研究予算総額との整合性があることをご確認ください
- 複数年にわたり、すでに開始されている研究の場合は、進捗状況を記載してください

研究から期待される結果

当該研究を実施することにより、どのような結果が期待され、またそれがどのように日本の医学・薬学の発展に寄与し、社会貢献につながると考えられるのかをご記入ください。

例) ・研究成果が、いつ、誰に、どの程度、どんなメリットがあるのか、その理由
・その研究成果を応用し、将来的にどのような社会貢献が考えられるか

研究参加者人数

本研究に携わる研究者の人数、また、臨床研究の場合は被験者数をあわせた人数を、およその数で結構ですので、ご記入ください。

記入例) 研究者の人数：10名 被験者数：今年度30例（最終被験者数50例）

研究実施期間（計画）

研究の総期間*について、開始と終了の予定年月を西暦でご記入ください。既に終了した研究には助成できません。

*助成については2022年4月1日～2023年3月31日までの研究活動に対してのものとなりますが、研究の総期間はそれを超えても問題ありません。

研究予算総額

研究の総期間の費用総額をご記入ください。前述の研究の詳細との整合性があることをご確認ください。

★ここは本年度助成希望金額ではなく研究総期間中の総額をご記入ください

研究予算内訳（研究予算総額の内訳）

研究予算総額の算定根拠となる、費用項目と金額の両方を記載してください。どちらか一方の記載や内訳の合計が研究予算総額と異なる記載は、審査対象となりません。

記入例) 細胞培養試薬費用：40万円 実験消耗品費用：20万円 動物飼育費用：30万円
解析委託人件費：50万円 測定費用（外注）：40万円
発表者学会参加費用：10万円 論文投稿費用：10万円 合計：200万円

★前述の研究予算総額と内訳の合計が一致するよう確認してください

希望金額

前述の研究予算総額の中から本年度助成を希望される金額をご記入ください。

- 上限は100万円です
- 助成金額は審査により決定しますので、申請希望通りの金額とは限りません
- 当該助成は単年度分です。複数年にわたる研究の場合は、本年度分のみ助成対象です
例) 研究実施期間（計画）2021年4月1日～2024年3月31日の研究に対しては、
2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）に使用される費用が対象
- 2022年3月31日以前にかかった過去の費用へは助成できません
- 2023年4月以降にかかる費用については2023年度に募集があった際に申請してください

希望金額の内訳

前述の研究予算内訳（研究予算総額の内訳）の中から本年度助成希望金額分の内訳をご記入ください。

- 以下に該当する費用分は、医療用医薬品製造販売業公正取引協議会の寄附運用基準に基づき、助成対象となりませんのでご注意ください。（研究予算総額に算定することは問題ありません）
 - ①医療機関等が行う通常の医療業務に対する費用（健康保険でカバーされる項目など）
 - ②医療機関等が自ら支出すべき費用の肩代わりと見做されるおそれのある費用に該当する費用
- ★その他助成対象とならない項目等の詳細については「別表1（P6）」を必ず参照してください

研究費用についての確認事項1～3

内容を確認の上、チェックボックスにチェックしてください。

- 研究予算総額の内訳について費用項目とその金額の両方を記載し、合計金額は一致している
- 希望金額の内訳に、医療機関等が行う通常の医療業務に対する項目は含まれていない
- 希望金額の内訳に、医療機関等が自ら支出すべき費用の肩代わりと見做される項目は含まれていない

所属研究機関名（English） 所属講座、診療科など（English）

社内管理に必要なため、ご所属について英語での名称をご記入ください。

添付ファイル（提出書類）

- 貴施設所定の寄附申込書を、この申請に該当する最新版の書式であるかをご確認の上、添付してください。審査後、承認となった申請に対し、弊社から助成を申し込む際に使用いたします。なお、ここでの添付をもって申請が承認されることを保証するものではありません
- 貴施設内での手続きに必要な書類や、旧書式とお間違えのないようご注意ください
- 本助成金は「B 学術研究助成費」の「奨学寄附金」として扱われますので、弊社所定の様式での申し込みは行っておりません。貴施設所定の寄附申込書をご用意ください
- 申請者が「医療機関を開設する法人の研究部門（研究所）」にご所属の場合は、審査資料として「定款」「組織規定」「事業報告書または事業計画書」「収支予算書（今回実施の研究分）」をあわせて添付ファイルとしてご提出ください
- 申請内容の追加資料等の添付欄としてもご使用いただけます

備考

本申請について補足や連絡事項等があればご記入ください。

3. 研究報告の提出について（2023年3～4月を予定）

医療用医薬品製造販売業公正取引協議会の寄附運用基準に則り、助成の趣旨が達成されたかどうかを確認するためのものであり、特に見返りとしての報告を求めるものではありません。その研究について、研究テーマ、スタッフ、研究実施期間、所要経費の内訳（概算）等、定められた項目について、Web 申請サイトの「申請一覧」からご報告ください。

- 単年度ごとの助成のため、2022 年度に受けられた助成金は 2023 年 3 月末までに使用いただき、その内容を研究報告として 2023 年 4 月末までに Web サイトへ入力してください
- 報告対象の研究については、2023 年 3 月頃にメールにて研究報告の入力依頼を行います
- 助成を受けられた研究のご報告が未入力の場合、次年度以降、所属する教室や診療科からの申請を受け付けることができません
- 研究内容に関わる詳細なデータや、領収書、収支報告書の添付等のご提出は求めません

各種ページ URL

バイエル薬品アカデミックサポート トップページ

<https://www.pharma.bayer.jp/researchers/>

アカウント新規登録から申請までの流れ

https://kifu-shinsei.jp/kifu-entry/cm/flow/index_ja.html

推奨環境・よくあるお問い合わせ

https://kifu-shinsei.jp/kifu-entry/cm/doc/index_ja.html

お問い合わせ先

ご質問などございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

なお、正確にご質問をお受けするために、お電話によるお問い合わせ先は設けておりません。

- ◇ 弊社の営業、マーケティングに所属する社員を含め、事務局以外からの回答はいたしかねます。バイエル薬品アカデミックサポートに関するお問い合わせは、直接事務局までお願いいたします。
- ◇ 土・日・祝日、弊社休日（連休、年末年始など）および営業時間外にお送りいただいたお問い合わせには、回答が遅れる場合がございます。
- ◇ 2022 年 4 月 25 日 10 時までにいただいた申請に関わるお問い合わせについては、申請期限（2022 年 4 月 28 日 17 時半）までに回答いたしますが、これ以降にいただいたお問い合わせについては、対応できない可能性がございます。

バイエル薬品株式会社

メディカルアフェアーズ&ファーマコビジランス本部

研究助成事務局

e-mail : academic.support.jp@bayer.com

別表 1 : 助成対象とならない項目の詳細 (研究予算総額の内訳に算定されることは問題ありません)

費用項目例	助成対象* 注意点あり	助成対象外
		本年度助成希望金額の内訳として記載されていた場合、以下の制限内で助成対象となります
人件費 本研究のための補助的人員等に別途掛かる経費	本研究のために必須な補助的人員等の経費に限ります	研究代表者や共同研究者など職員の通常人件費
試薬費 本研究のための試薬に掛かる費用	—	—
器具、備品、機器等の費用 本研究に特化し、本研究に限定して使用される物品に掛かる費用	本研究のために必須で他への汎用性のない消耗品に限ります チップ、チューブなどの実験器具 等	本研究のための購入後も本研究以外へ汎用できる可能性があると思われる物品 通常備えるべき什器や設備備品にかかる費用 パソコン、モニター、および電子機器・通信機器、記録用メディア、ソフトウェア等の購入費 機器の修理・整備費用 電子機器にかかる回線・通信費用 ソフトウェア使用のライセンス費用 等
学会関連費用 本研究の発表等に関連する学会参加費や旅費	本年度助成希望金額の 30%以下とします 本研究の学会発表者の参加費や交通費に限定します * 研究報告で参加した具体的な学会名などを記入いただきます	学会年会費 発表者以外に関わる費用
会議費 本研究に関連する会議に掛かる費用	本年度助成希望金額の 30%以下とします * 研究報告で実際の会議回数、各参加者数を記入いただきます	本研究に関連することが明確ではない会議費 飲食代、懇親会費 事務局等管理費 (事務所賃貸料、通信費、什器代 等)
その他 具体的な内容を必ず記載してください	投稿費用、外注検査費用 等	雑誌・書籍などの年間購読費用 等

例) 本年度助成希望金額 (2022 年度使用分) が 100 万円で、その内訳に「PC 代 20 万円」や「学会関連費用 40 万円」が含まれている場合、「PC 代 20 万円 (全額)」「学会関連費用 10 万円 (30%超過分)」が差し引かれ、助成対象上限金額は 70 万円となります